Bose® FreeSpace® DS 40SE Loudspeaker with Ceiling Mount Bracket

DS 40SEB-CMB/DS 40SEW-CMB

Better sound through research

設置ガイド*

この度は DS40SEB-CMB/DS40SEW-CMB をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの設置ガイドをお読みください。また、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておくことをおすすめします。

※説明の便宜上、イラストは実物とは異なる場合があります。

* この設置ガイドは、取付業者様用です。

安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです（左図の場合は分解禁止を意味します）。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●異常が発生したとき

⚠ 警告

変なにおいや音がしたときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、アンプの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損したときは販売店に相談する

ご相談ください

そのままの状態で使用すると、落下してけがや火災、感電の原因となります。販売店に点検、修理をご依頼ください。

●設置、保管するとき

⚠ 警告

総重量に耐える場所に取り付ける

必ず実行

取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などでけがの原因となります。

設置場所の確認

禁止

スピーカーを取り付ける際には、人が通る場所や、容易に触れる場所に設置しないでください。スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

禁止

腐食によりブラケットの強度が低下し、スピーカーの落下などの事故の原因となります。

本機の上や周囲に、小さな金属物を置かない

禁止

内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。

配線および取付は、取扱説明書に記載してある通りに行う

必ず実行

配線および取付は、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線、取付を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

不安定な場所に置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所、振動する所など、不安定な場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。

アンカーは必ず奥まで差し込む

必ず実行

アンカーは必ず奥まで差し込んでください。また、アンカー用の下穴のサイズが大きすぎるとアンカーが効かず、スピーカーが落下して、けがの原因となります。アンカー用の下穴の深さとサイズは必ず守ってください。

適切なボルト、ナット類を使用する

必ず実行

取付ネジは、スピーカーおよびブラケットの質量を確認した上で天井、壁の材質にあったものを選んで取り付けを行ってください。強度が足りませんとスピーカーの落下により、けがや事故の原因となります。

ネジは確実に締める

必ず実行

締め付けが弱かったり、奥まで締めこんでいない場合は、落下してけがの原因となります。

落下防止ワイヤーを使用する

ワイヤーを使用

落下防止ワイヤーは指定された場所か落下時に耐えうるところ（スピーカー本体およびブラケットの総質量の 10 倍）に確実に取り付けてください。強度が足りませんと、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。

●設置、保管するとき

⚠ 警告

スピーカーコードは安全な場所に這わせる

必ず実行

スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。

本体のカバーを外したり、分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

梱包袋は安全な場所に保管する

安全な場所に保管

製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因となります。

⚠ 注意

設置作業は専門業者へ

ご相談ください

設置に関しては、専門の業者にご依頼ください。

高温の場所に置かない

禁止

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所、熱源のそばなど、温度が異常に高くなる場所に機器を設置 ・ 保管しないでください。過熱や部品の変形などにより、火災や感電の原因となることがあります。

ほこり、油煙、湯気、湿気、高温の場所に置かない

禁止

ほこり、油煙、湿気の多い場所や、直射日光の当たる場所、直接ライトが当たる場所、高温になる車の中などには置かないでください。故障の原因となります。

けがに注意

注意

スピーカーを高いところに設置される場合には、足下が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。

角度の調節前にジョイント部を緩める

必ず実行

角度調節機能が付いたものは必ず、ジョイント部を緩めてから調節を行ってください。固定したまま角度を変えますとブラケットが破損したり機能低下し、けがや事故の原因となります。

ジョイント部分を緩めるときは先にスピーカーを支える

必ず実行

角度を変えるジョイント部を緩める際には、必ず先にスピーカーを支えてから行ってください。支えませんと急にスピーカーが動いて、けがや事故の原因となります。

スピーカーコードを傷付けない

禁止

スピーカーコードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したり、上に重い物を乗せたりしないでください。コードが破損して、火災や故障の原因となることがあります。

ごみ、落下物に注意

注意

ブラケットとスピーカーの隙間に、ごみ、落下物などが入らないようにしてください。ブラケットにスピーカーの重量以上の力がかかり、落下などでけがや事故の原因となります。

配線時は電源プラグをコンセントから抜く

必ず実行

電源プラグをコンセントに差したまま行うと、感電の原因となることがあります。

●使用するとき

⚠ 警告

機器のそばに、ろうそく等の火がついているものを置かない
引火して火災の原因となります。

大音量で長時間続けて聞かない
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンのご使用時にはご注意ください。

⚠ 注意

スピーカーにより掛かったり、ものをぶら下げたりしない
スピーカーを取り付けた後、スピーカーにより掛かったり、ものをぶら下げたりして重量を掛けますと転倒や落下などで、けがや事故の原因となります。

●使用するとき

⚠ 注意

長時間音が歪んだ状態で使用しない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

表面を変質させる素材を使わない
アルコール、ベンジン、シンナー、あるいはスプレー式殺虫剤、消臭剤、芳香剤などの揮発性のものをかけないでください。外装の変質により、ブラケットが破損し、スピーカーの落下の原因となることがあります。

定期的な点検をする
金属やネジ、ワイヤーが錆びると、落下などの原因となりますので、定期的に点検をしてください。

その他　注意事項

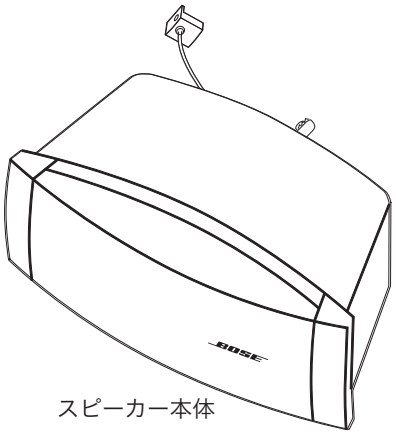
・この設置ガイドは、施工業者様用です。
・建築基準法や地域の条例、安全基準などを考慮して、設置場所や取付方法を決めてください。
・取り付ける場所の強度を確認してください。取付面とブラケットに、スピーカー本体とブラケットを含めた質量の 10 倍以上の強度があることを目安にします。

設置上の注意

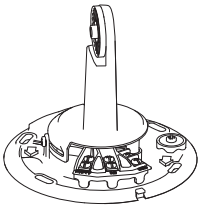
- **警告：壁や他の垂直面にはマウントしないでください。**
- **各地域の建築に関する条例や規則に従って、マウントの位置、方法、および取り付け用部品を選択してください。**
- **設置方法やマウント面の材質は現場により異なるため、スピーカーおよびブラケットをマウント面へ固定するための取り付けネジ類等の部品は本製品に付属しておりません。適切な取り付け用部品については、スピーカーおよびブラケットを施工する前に必ず専門の施工業者にご相談の上、別途ご用意ください。**
- **マウント面と設置方法が、スピーカーとブラケットの重量に耐えられ、十分な強度があることを確認してください。マウント面とブラケットに、スピーカー本体とブラケットを含めた質量の 10 倍以上の強度があることを目安にします。**
- **スピーカーとブラケットの設置の安全性を確保するのは、施工業者の責任です。設置工事は施工業者が責任を持って行ってください。正しく設置を行わないと、スピーカーおよびブラケットの落下による損傷、人身への傷害、死亡事故の原因となります。**

内容物

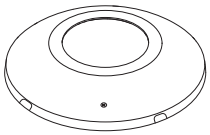
もし開梱時に損傷などが発見された場合や、内容物が不足しているときはそのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。また、箱や梱包材は、後日の修理メンテナンス等が必要になった場合のために保存しておくことをおすすめします。



スピーカー本体



マウントプレート

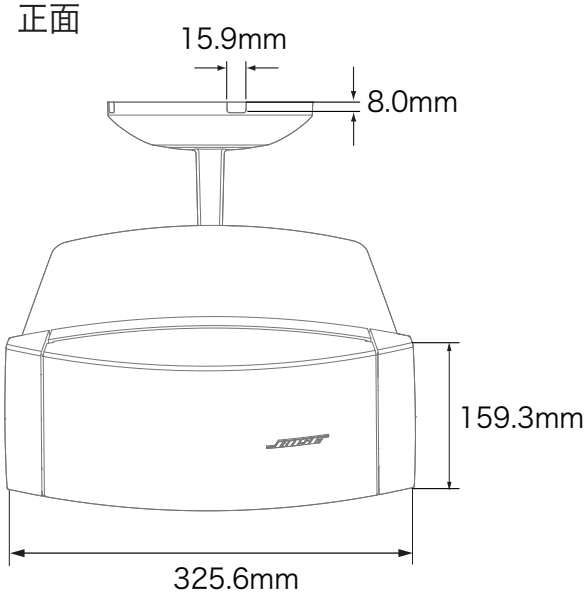


コスメティックカバー

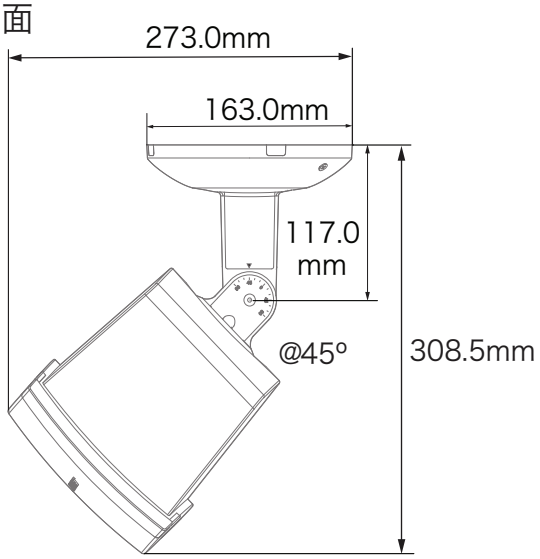
設置ガイド

寸法図

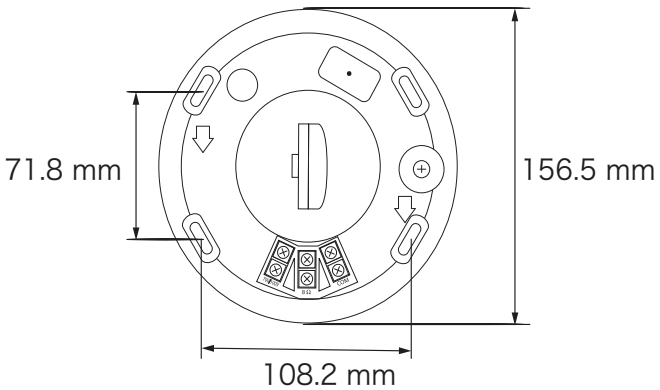
正面



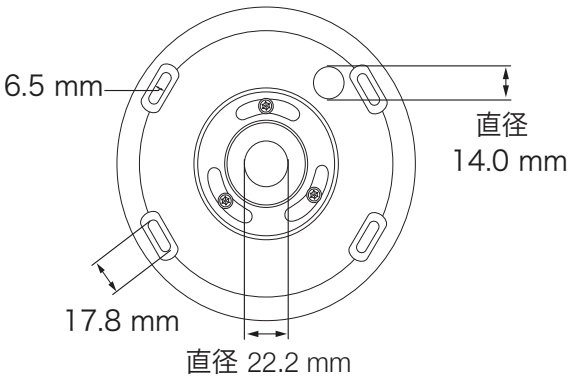
右側面



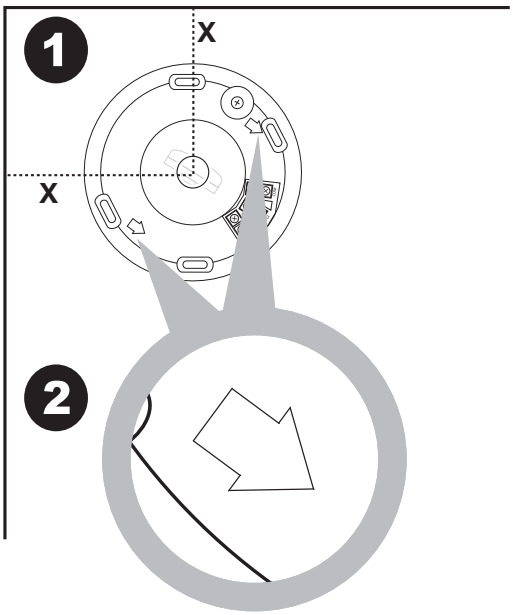
ブラケット上面



ブラケット背面



マウントプレートの取り付け位置



スピーカー	最小距離（X）
DS 16S/SE	165.1 mm
DS 40SE	**203.2 mm**
DS 100SE	228.6 mm

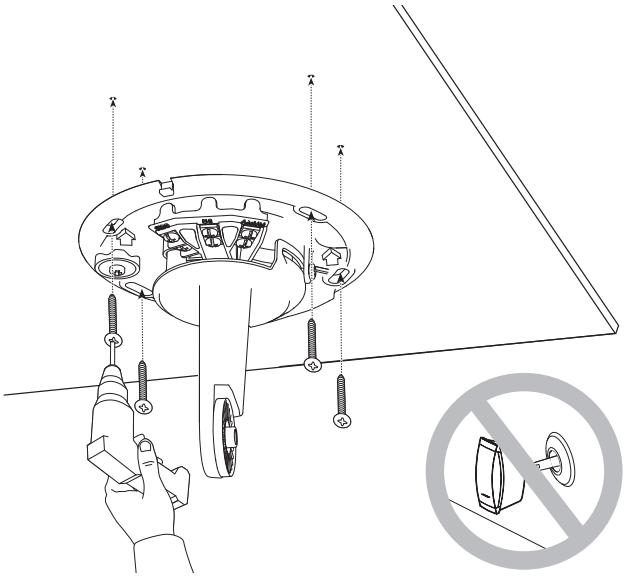
ブラケットの配置と向き

❶ マウントプレート中央穴の中心から隣接する壁面までの距離（X）が、少なくとも上記表内の最小距離以上あることを確認して、マウントプレートを配置してください。最小距離（X）の数値は取り付けるスピーカーのモデルごとに異なります。上記表内の最小距離（X）以上の距離を確保することで、スピーカーの角度調節が水平・垂直それぞれ全範囲にわたって可能となります。

注意：上記表内の最小距離（X）以下の位置にマウントプレートを配置した場合、スピーカー本体が壁面等にあたって希望の角度調節（水平・垂直）を行えない場合があります。

❷ マウントプレート上の 2 つの矢印は、スピーカーが正面を向く方向です。スピーカーの向きと 2 つの矢印の向きを合わせてマウントプレートを配置してください。

天井へのマウント

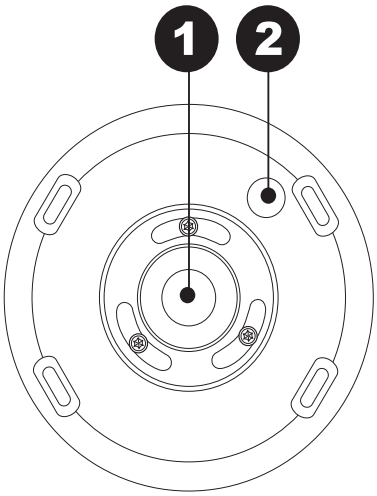


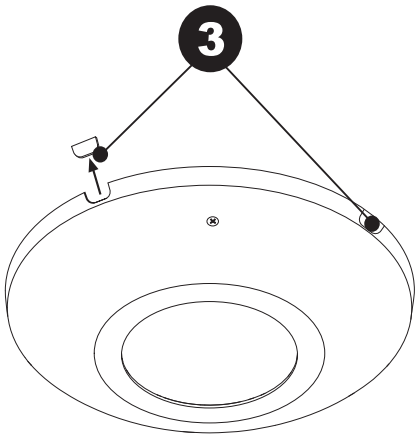
マウントプレートの設置

マウントプレートを天井に取り付けます。

- **警告：壁や他の垂直面にはマウントしないでください。**
- 取り付ける天井に、スピーカーとブラケットの質量を十分支えられるだけの強度があることを確認してください。強度不足の場合は、別途適切な天井補強工事が必要となります。
- 天井への取り付けには、M6 または #10（インチ）サイズのネジ等を別途ご用意の上、使用してください。
- 天井への取り付けには、必ず 4 本のネジをご使用の上、ブラケットが 4 点で固定されるように設置してください。

ブラケットへの配線

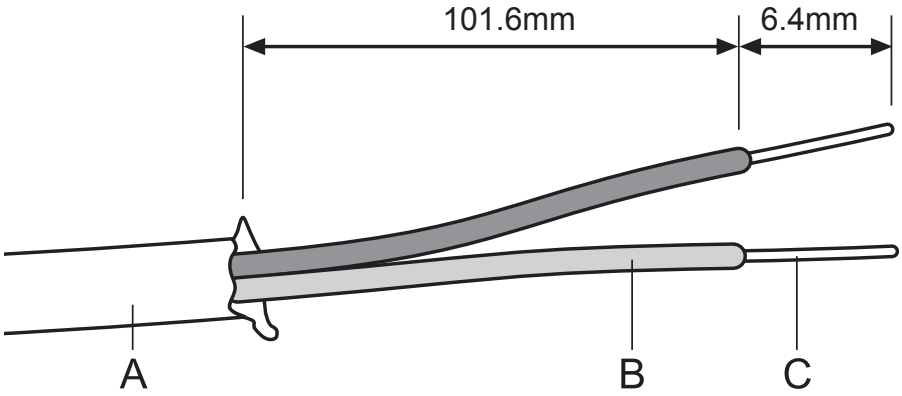




スピーカーケーブルの配線

スピーカーケーブルは以下のいずれかの部位からブラケット内の入力端子へ配線できます：

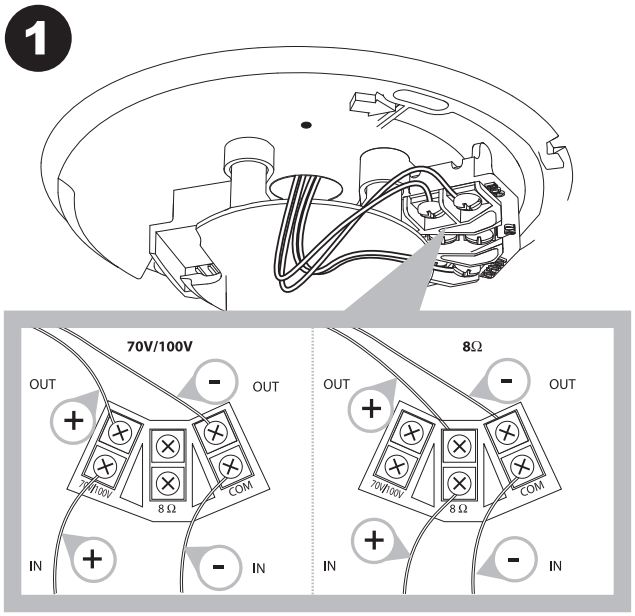
- マウントプレート中央穴（1/2” サイズコンジット対応） ❶
- マウントプレートサイド穴 ❷
- コスメティックカバー上のアクセスドア（取外し可能） ❸

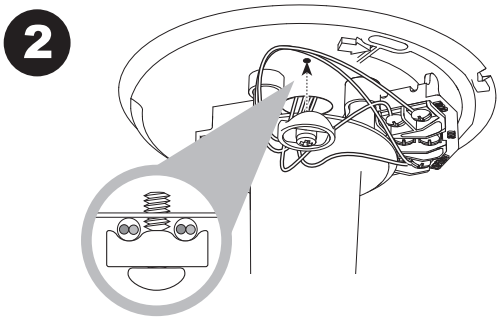


スピーカーケーブルの準備

外被覆 (A) をめくり、中のケーブル被覆 (B) を、芯線 (C) が端子にしっかり取り付けられる分だけむいておきます。

ブラケットへの配線





入力端子への結線

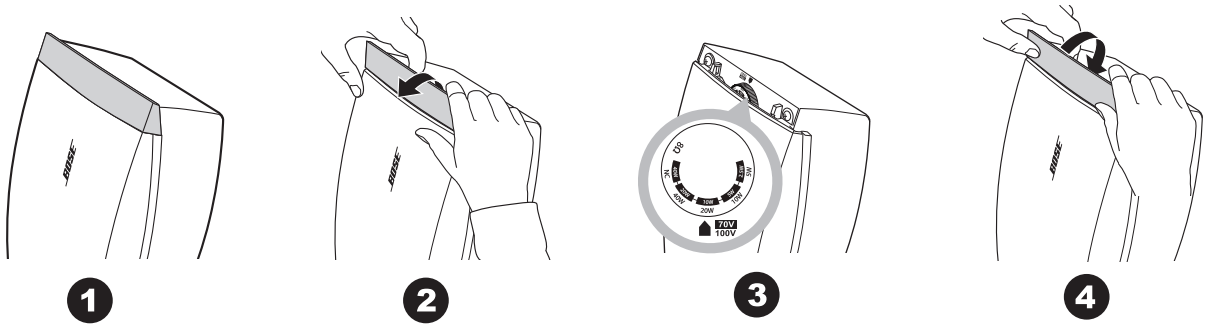
❶ スピーカーケーブルを入力端子へ適切に接続します。
70V/100V：ハイインピーダンス伝送時
8 Ω：ローインピーダンス伝送時

注意：スピーカー水平角度調節時の障害とならないよう、スピーカーケーブルの長さは余裕をもたせて結線してください。

❷ ケーブル固定ネジを使用して、スピーカーケーブルをマウントプレートへ固定します。

- スピーカーケーブルがケーブル溝に収まるように固定してください。
- ケーブル固定ネジとスピーカーケーブルの接触部分では、スピーカーケーブルの芯線が被覆で保護されていることを確認してください。

スピーカーの準備

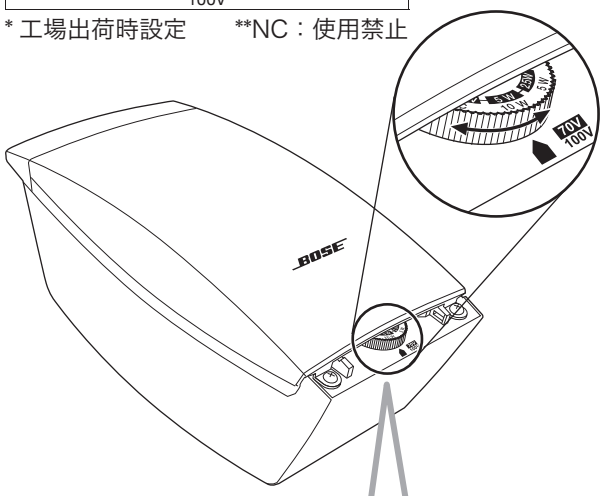


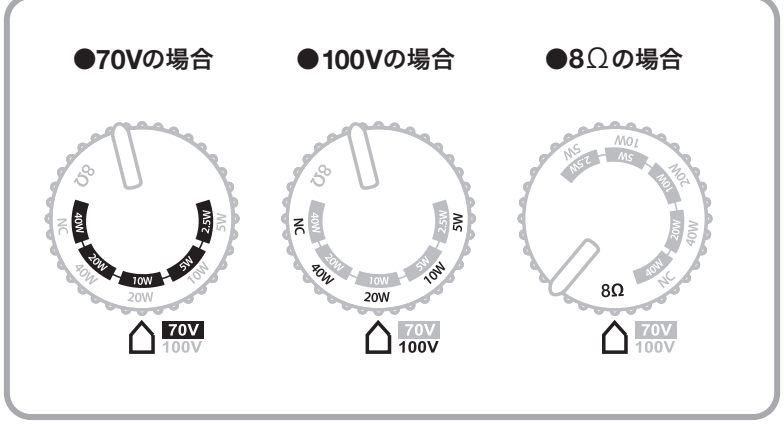
マルチタップトランスの切り換え方

❶ ボーズロゴがある方を上にして、スピーカーを縦に置きます。
❷ エンドキャップを手前に引いて、取り外します。
❸ ホイールを回して希望のタップ設定にセットします。
❹ エンドキャップを元の位置に戻して、カチッと音がするまで押し込みます。
注意：エンドキャップの取り外しとタップ設定の切り換えは、スピーカー設置後でも必要に応じて行うことができます。

70V					
2.5W*	5W	10W	20W	40W	8Ω
5W*	10W	20W	40W	NC**	
100V					

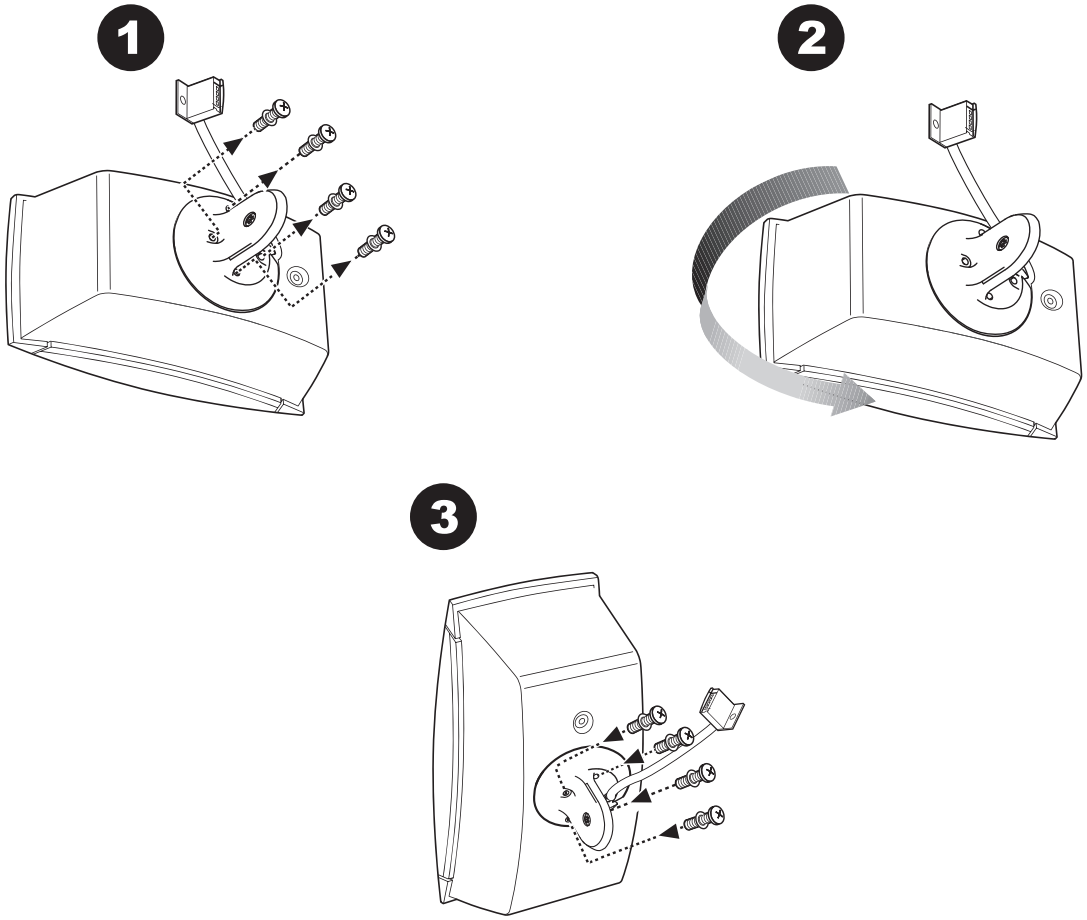
* 工場出荷時設定　　**NC：使用禁止





⚠ 注意　100V 伝送で使用する際に、タップを NC に合わせないでください。過負荷になり火災や機器の故障の原因となります。

スピーカーを縦向きに設置する場合



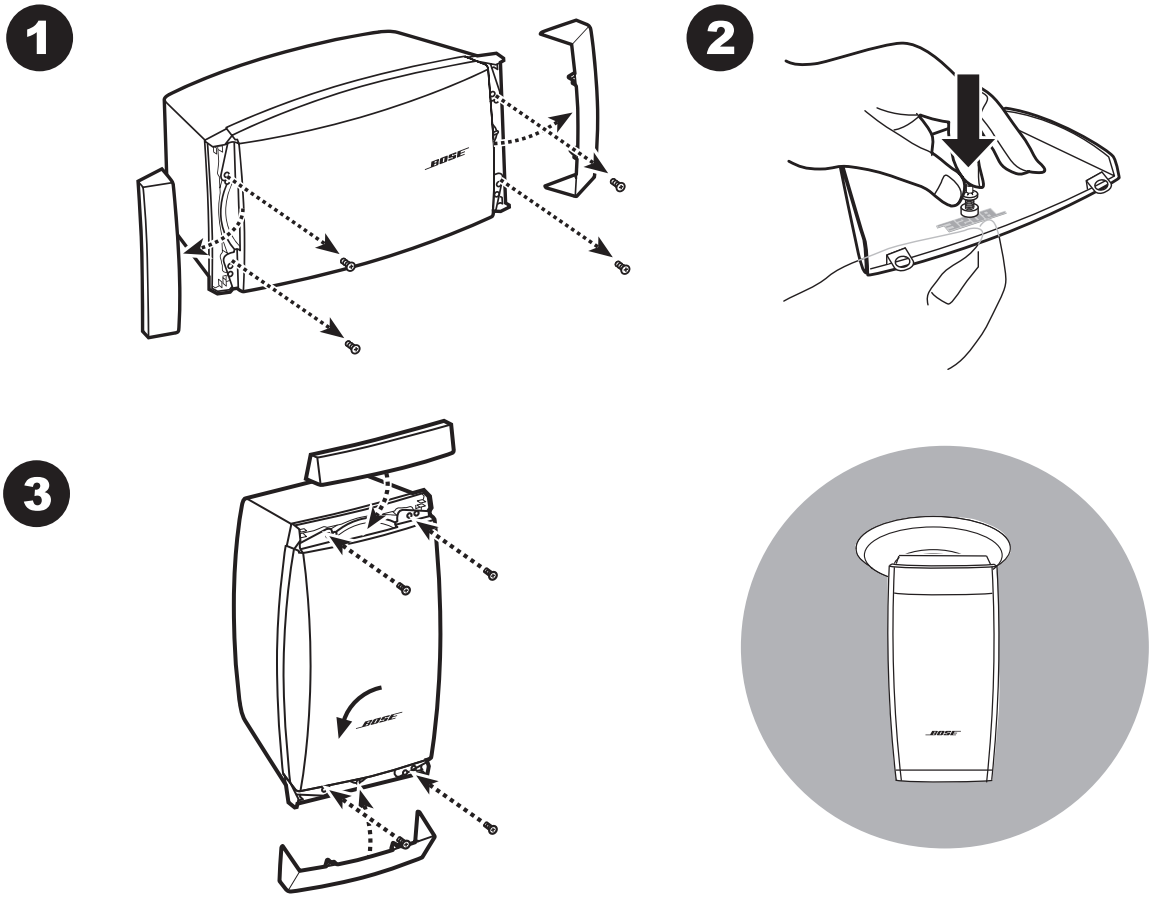
スピーカーの回転（縦向き設置時）

❶ スピーカーアームを取り外します。

❷ スピーカーを縦向きに回転させます。

❸ スピーカーアームの向きを合わせて、再び取り付けます。

スピーカーを縦向きに設置する場合



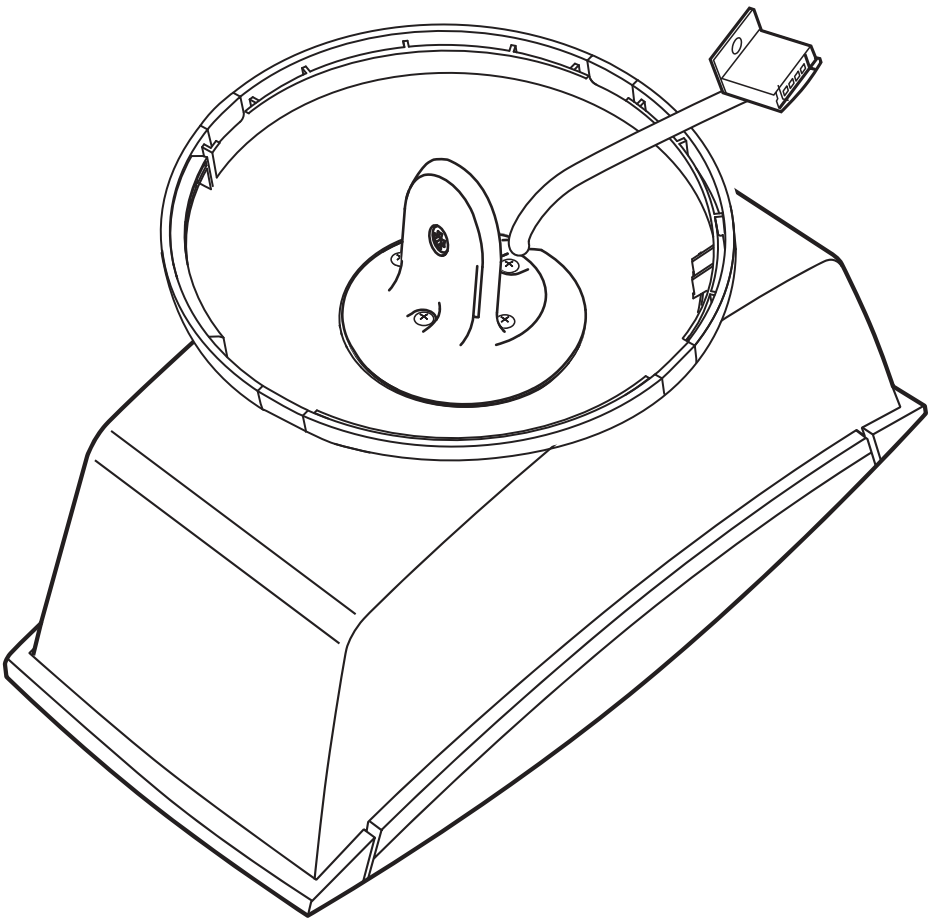
ロゴの回転

❶ エンドキャップとグリルを外します。

❷ ロゴを回転させます。

❸ グリルとエンドキャップを元の位置へ取り付けます。

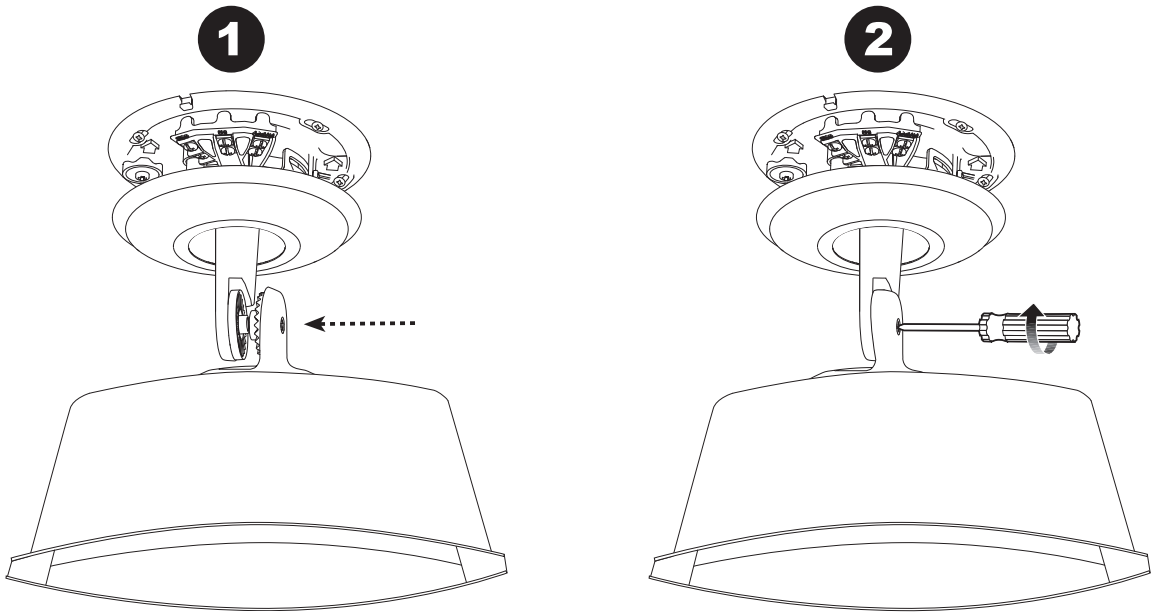
コスメティックカバーの準備



コスメティックカバーの準備

スピーカーアームとワイヤーコネクターをコスメティックカバーの中央穴に通して、カバーをあらかじめスピーカー背面に置いておきます。

スピーカーとブラケットの取り付け

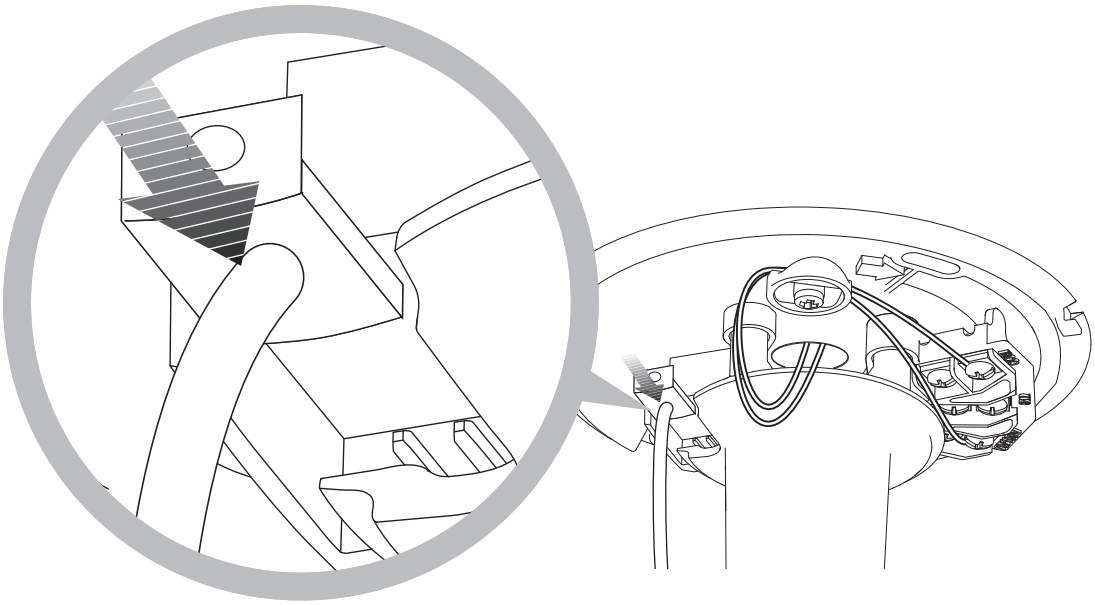


スピーカーとブラケットの取り付け

❶ スピーカーアームとマウントプレート側のアームをかみ合わせます。

❷ スピーカーアーム側のネジを締めて、スピーカー本体をアームに保持させます。

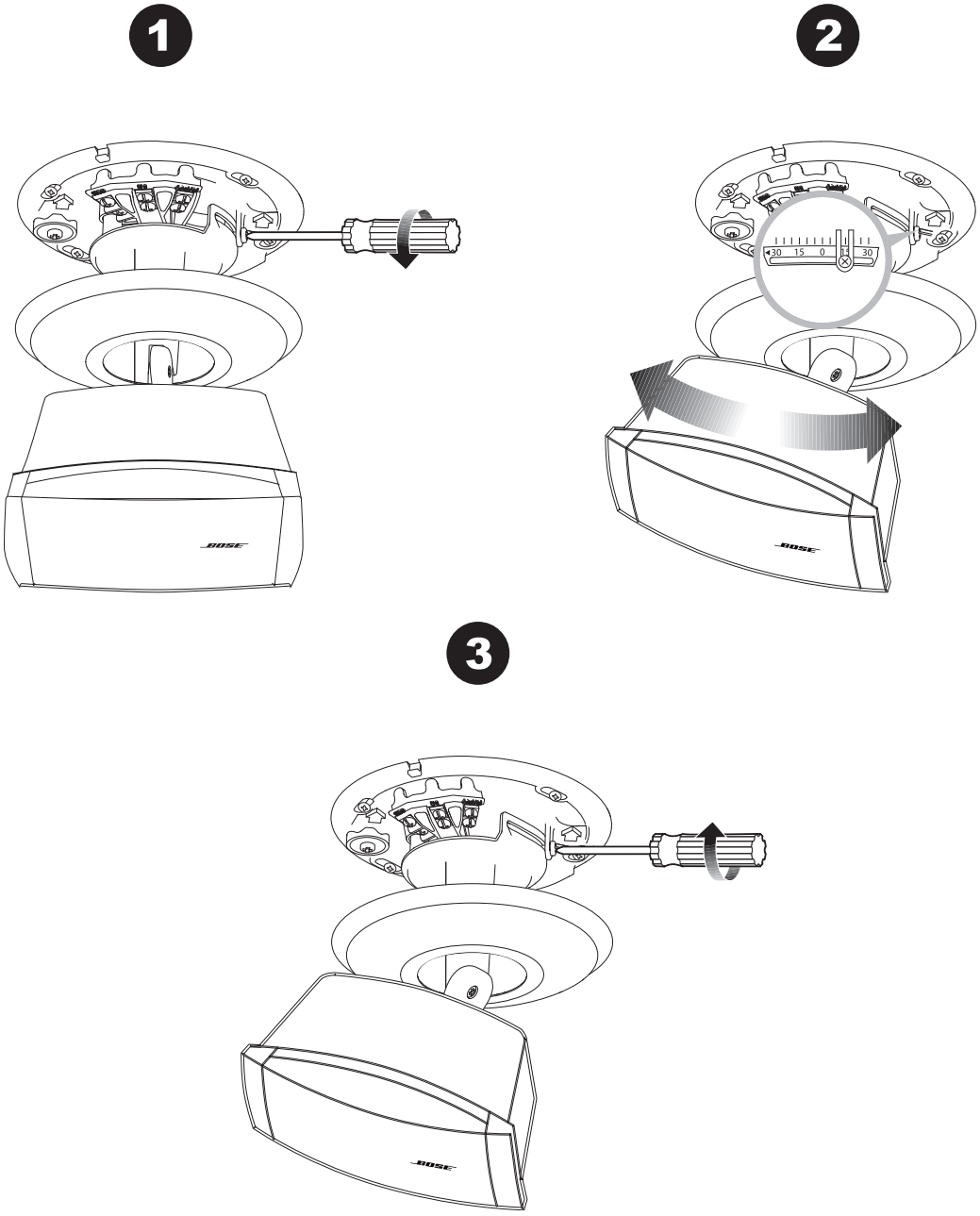
注意：最終的なスピーカーの角度調節は、この設置プロセスの後半で行いますので、ネジはまだ完全に締めないでください。



ワイヤーコネクターの接続

スピーカー側のワイヤーコネクターを、マウントプレートのブラケットコネクターに奥までしっかりとはめ込みます。

スピーカーの水平角度調節



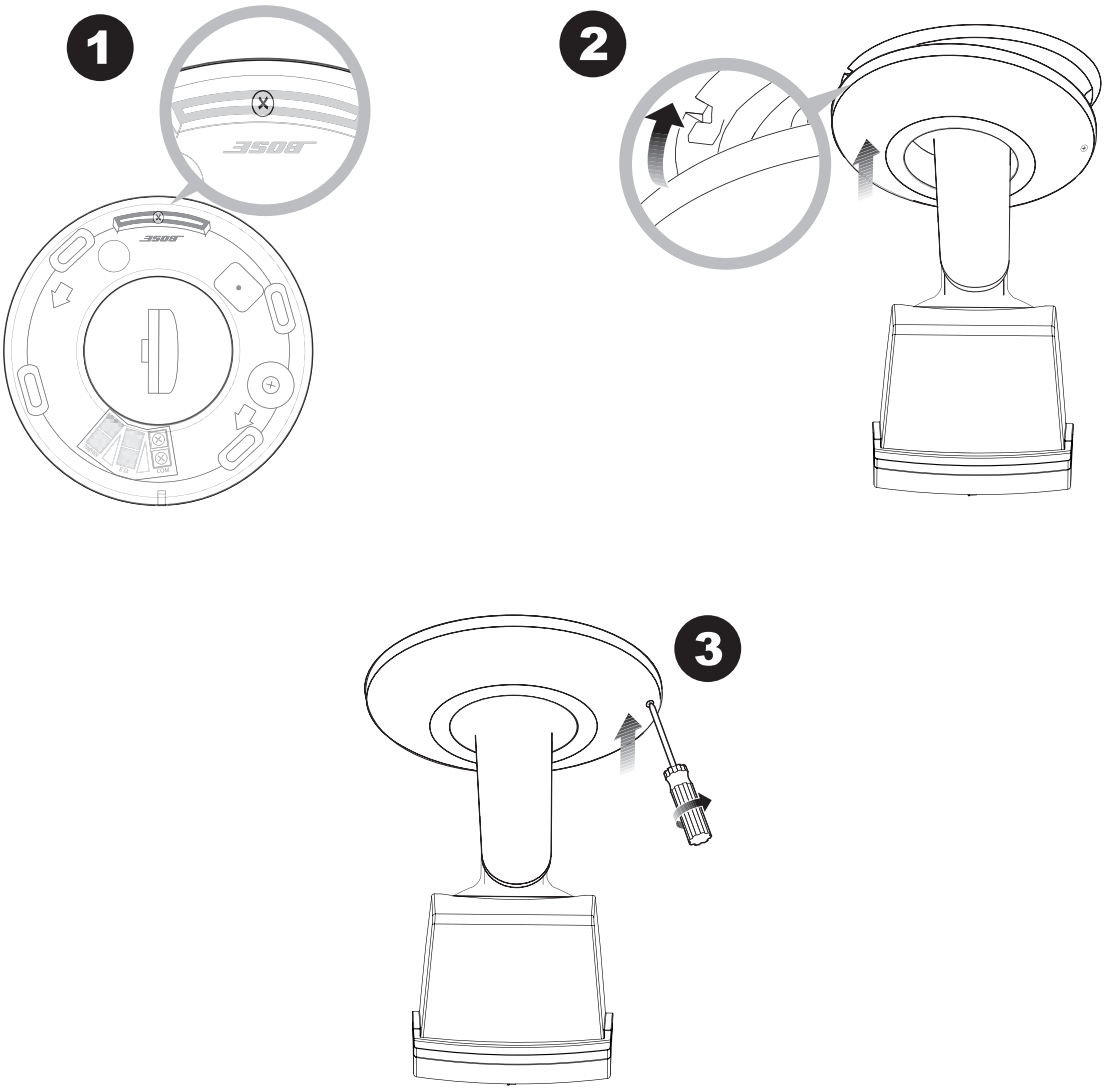
水平角度調節の手順

❶ 角度固定ネジを緩めます。

❷ スピーカーとブラケットを回転させて、希望の水平角度に調節します（水平調節範囲：左右 30° まで）。

❸ 角度固定ネジを締めて、スピーカーとブラケットの水平位置を固定します。

コスメティックカバーの取り付け



コスメティックカバーの取り付け

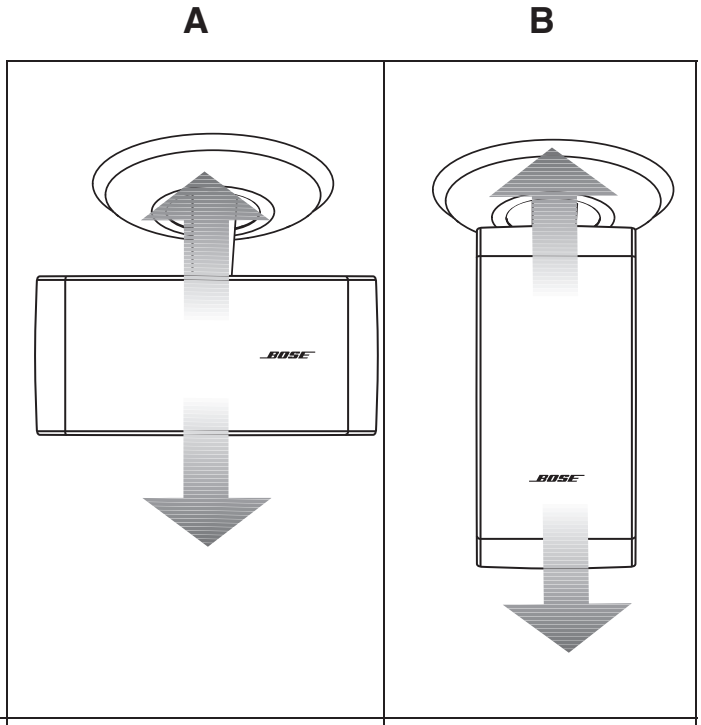
❶ コスメティックカバーのネジの位置を、スピーカーアーム後方側にあるマウントプレート上のネジ溝に合わせます。

❷ カバー前面の内側にある、細長い筋状の突起部の位置を確認します。マウントプレート前面にあるフックが、この筋状の突起部にひっかかるようにしてカバーをかみ合わせてから、カバー全体をマウントプレートへ押しあてます。

注意：スピーカーケーブルがフック周辺にまとまると、コスメティックカバーがマウントプレートとうまくかみ合わない場合があります。適切にケーブルを処理してください。

❸ ネジを締めてカバーを固定します。

スピーカーの垂直角度調節



	A	B
DS 40SE	90° – 0°	60° – 0°

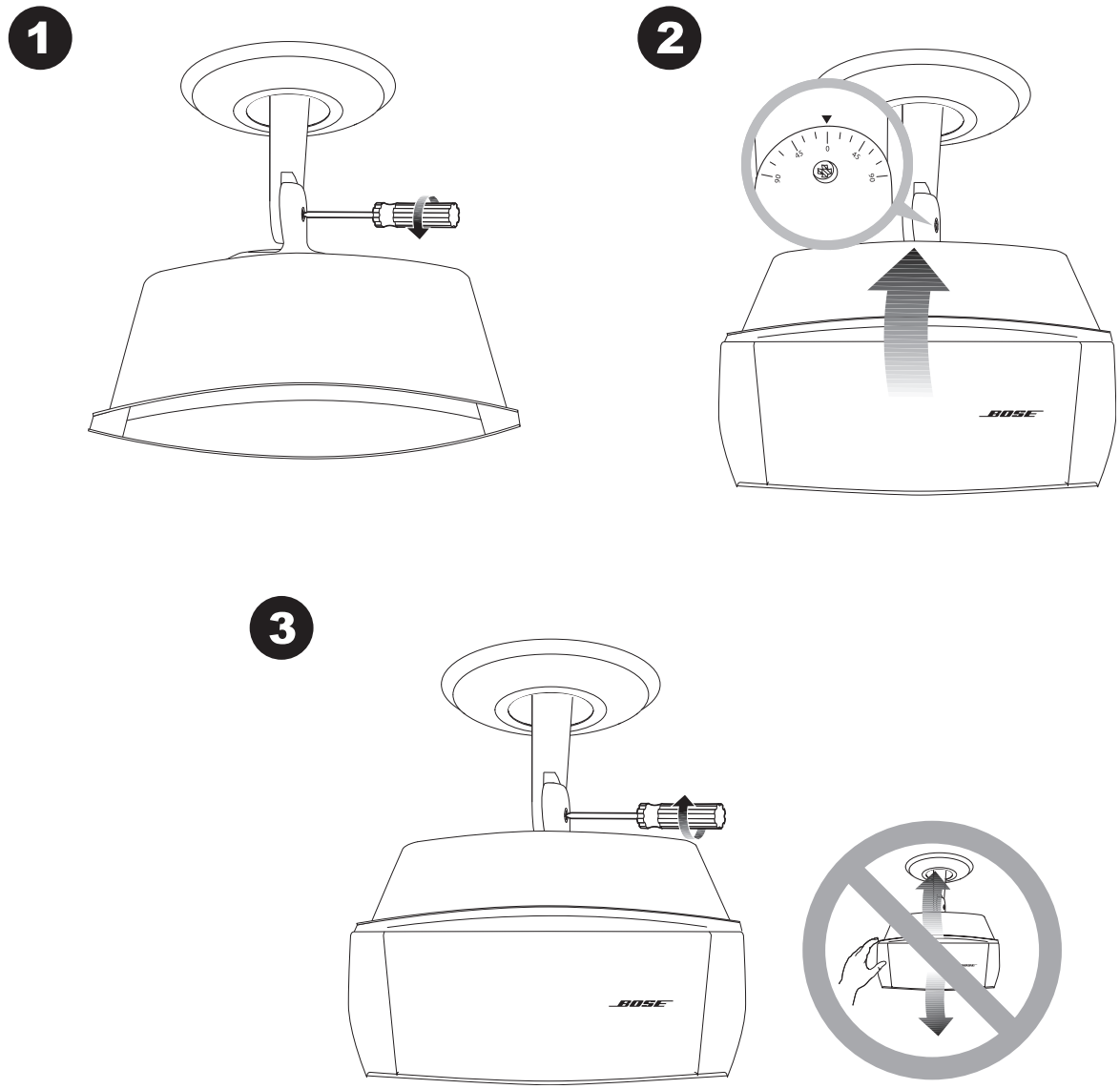
垂直角度調節の手順

❶ スピーカー本体をしっかりと支えながら、スピーカーアームのネジを少し緩めます。スピーカーが落下しないよう注意してください。

❷ 希望の垂直角度に調節します。

❸ ネジを完全に締めて、スピーカーの垂直位置を固定します。

スピーカーの垂直角度調節



垂直角度調節の手順

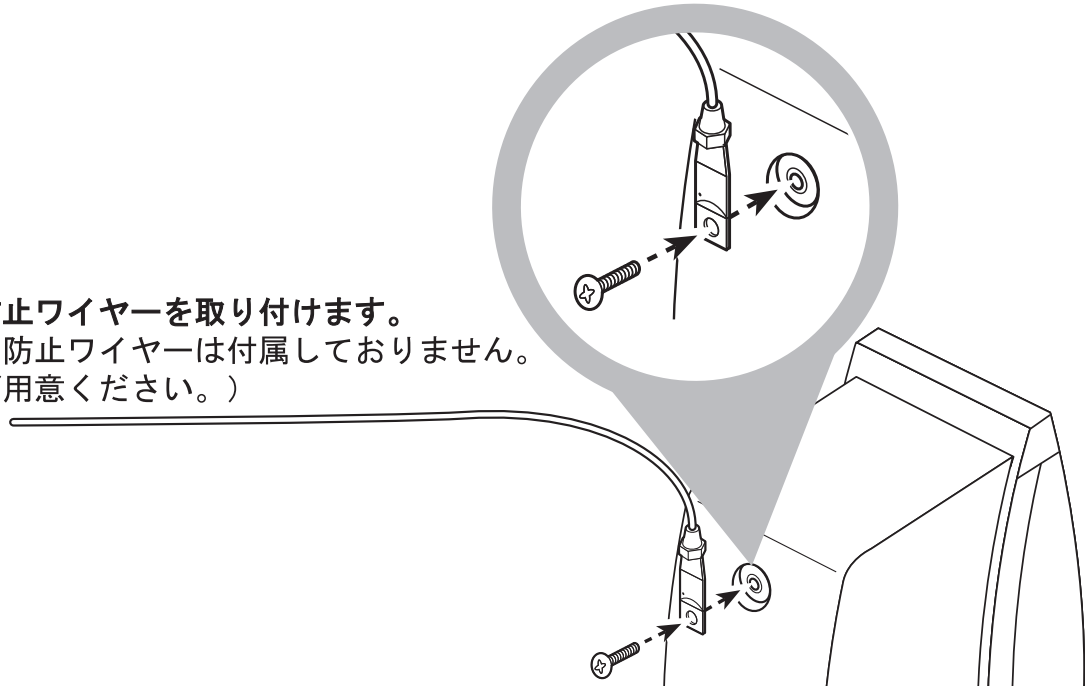
❶ スピーカー本体をしっかりと支えながら、スピーカーアームのネジを少し緩めます。スピーカーが落下しないよう注意してください。

❷ 希望の垂直角度に調節します。

❸ ネジを完全に締めて、スピーカーの垂直位置を固定します。

注意：ネジは締め付けすぎないようにしてください。電動ドライバーを使用する場合は、必ず最低トルクに設定してください。ネジを締め付けすぎると、アームが破損することがあります。
角度の調節を行う時は、必ずネジを十分に緩めてからスピーカーの向きを変えてください。ネジの緩め方が不十分ですと、かみ合わせ部分が削れて固定できなくなることがあります。

その他　留意事項



落下防止ワイヤーを取り付けます。
（落下防止ワイヤーは付属しておりません。
別途ご用意ください。）

落下防止ワイヤーの使用

- **各地域の建築に関する条例や規制に従って、マウントの位置、方法、および取り付け用部品を選択してください。**
- **落下防止ワイヤーは付属しておりません。別途ご用意の上、そのワイヤーの取扱説明書に従って正しく取り付けてください。**
- **落下防止ワイヤーの仕様（強度、材質、長さ、形状など）については、設置する場所に合わせて最適なものを選択してください。**
- **落下防止ワイヤーはスピーカー本体背面の所定の位置に取り付けます。**
  ワイヤーはスピーカー本体と壁や天井の取付面を直接つないでください。

落下防止ワイヤー取り付け穴サイズ

ー DS 100SE、DS 40SE：M4 **深さ** 9mm

仕様情報

ユニット構成	11.5cm **フルレンジドライバー** x1
許容入力	40W
インピーダンス	8Ω、70V/100V **伝送対応**
タップ設定	70V **伝送時** :2.5、5、10、20、40W 100V **伝送時** : 5、10、20、40W
タップ初期設定値	2.5W（70V **伝送時**）/ 5W（100V **伝送時**）
感度	87dB SPL（1W@1m, pink noise）
最大音圧レベル	103dB SPL（1m/pink noise）、109dB SPL（peak）
再生周波数帯域	80Hz – 16kHz（-3dB）
指向特性	**水平** 125°、**垂直** 125°（-6dB、average 1-4kHz）
振り角度	**天井吊り下げブラケット使用時** **横向き設置　水平：左右** 30°　　**垂直：**+90 〜 0°（15° **ずつ調節可能**） **縦向き設置　水平：左右** 30°　　**垂直：**+60 〜 0°（15° **ずつ調節可能**）
入力端子	**ネジ式ターミナル（付属ブラケット部）**
外形寸法	325.60(W) x 159.26(H) x 174.81(D)mm　**本体のみ**
質量	**約** 3.5 kg **本体のみ（天井吊り下げブラケット取付時** : **約** 4.2 kg）
付属ブラケット	**天井吊り下げブラケット**
防塵・防水規格	IP55 (IEC529)
落下防止	M4 **深さ** 9mm (**スピーカー背面**)
ワイヤー取付穴	
カラー	**ブラック** (DS 40SEB-CMB)、**ホワイト** (DS 40SEW-CMB)

※本製品は非防磁です。

Safety and Regulatory Compliance

The DS 40SE has passed extensive testing and complies with the following specifications and uses:

LISTED to ANSI/UL 1480-2005

- Fire Protective Signaling Use – UL Category UUMW, File Number S 3241. Control Number 42S9 when installed with a ceiling mount bracket. Not for use with DC-supervised systems.
- General-Purpose Use – UL Category UEAY, File Number S 5591 Control Number 3N89.
- Suitable for use outdoors in wet locations.
- Suitable for installation using Class 1, Class 2, or Class 3 wiring methods in accordance with NFPA 70, National Electric Code, 2008, Article 640.
- Suitable for use with fire alarm circuit wiring methods in accordance with NFPA 70, National Electric Code, 2008, Article 760.

The DS 40SE has been designed to the requirements defined in the following European regulatory specification for combination systems:

- British Standard Code of Practice BS 5839, Part 8.
- Tested to IEC 60268-5.

UL Sensitivity Wattage Tap Sound Pressure Level dBA at 3.1 meters (10 feet):

Wattage ANSI/UL 1480-2005		
Tap	**70V**	**100V**
2.5 Watt	81 dBA	-
5 Watt	84 dBA	84 dBA
10 Watt	87 dBA	86 dBA
20 Watt	89 dBA	89 dBA
40 Watt	92 dBA	92 dBA
8 Ohm	91 dBA	

SPLs given are per the UL 1480 specified reporting method.

Frequency response:

Fire alarm: 400 Hz to 4 kHz

General signaling: 80 Hz to 16 kHz (±3dB)

Wire gauge

The FreeSpace® DS 40SE loudspeaker bracket is designed to work with 18 AWG (0.8 mm^2) to 14 AWG (2.0 mm^2) size wire only.

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　サービスセンター　お客様専用ナビダイヤル 0570-080-023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。

〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター　お客様専用ナビダイヤル 0570-080-021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社　http://www.bose.co.jp/
〒150-0036　東京都渋谷区南平台町16 -17 渋谷ガーデンタワー 5階

BOSE
Better sound through research

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品は、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1452-D
13・01 (B)